

2025年5月13日

2025年3月期 決算説明資料

2024.04.01 - 2025.03.31

CONTENTS

目次

/ 2025年3月期 決算概要
(P.03~P.10)

/ 事業の概況
(P.11~P.17)

/ 2026年3月期 業績予想
(P.18~P.22)

/ ご参考
(P.23~P.28)

2025年3月期 決算概要

●増収増益

- └ 売上高 | 既存顧客との取引が順調に拡大し前年同期比11.9%と大幅増収を達成
新規顧客獲得も次期以降の取引拡大に向けて昨年度同様順調に進捗
- └ 利益 | 既存顧客への主力サービスの拡販を中心とした営業活動により営業利益率は32.6%と高利益率を維持
営業利益は前年同期比12.9%、経常利益は同13.6%、親会社株主に帰属する当期純利益は同7.7%の増益

売上高

前年同期比 増 11.9%

8,000,645 千円

経常利益

前年同期比 増 13.6%

2,608,474 千円

営業利益

前年同期比 増 12.9%

2,606,351 千円

親会社株主に帰属する当期純利益

前年同期比 増 7.7%

1,782,293 千円

売上及び各段階利益全てにおいて、計画数値を上回る結果で着地

✧既存顧客との取引拡大や新規顧客の獲得により売上高は大幅増収

✧当期においては、開発体制強化を目的とした子会社新事務所建築等の大規模な設備投資を行うも増益

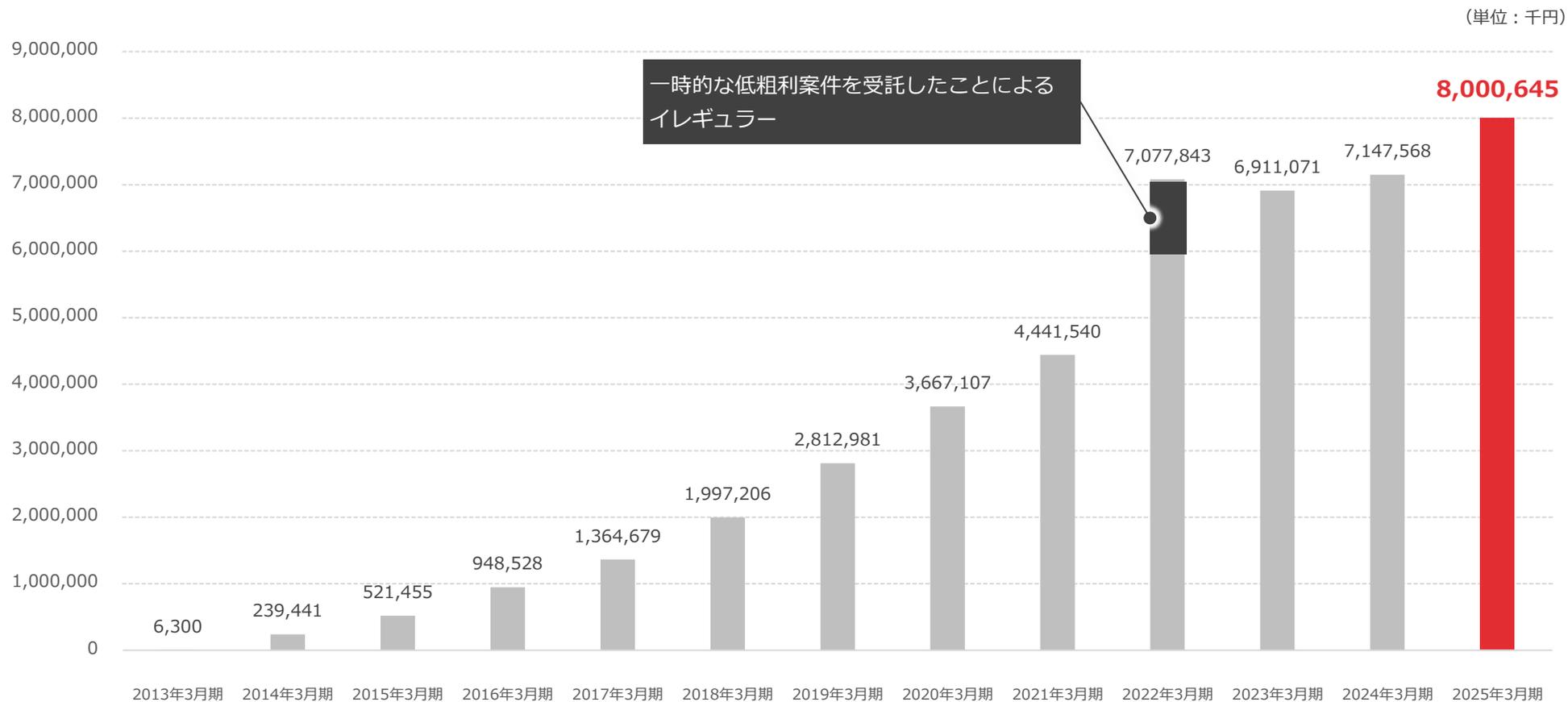
(単位：千円)

項目	2025年3月期	2024年3月期	前年同期比		2025年3月期 計画数値	
	実績	実績			通期計画	達成率
売上高	8,000,645	7,147,658	+853,076	+11.9%	7,600,000	105.3%
売上原価	4,125,222	3,828,120	+297,101	+7.8%	—	—
売上総利益	3,875,422	3,319,447	+555,974	+16.7%	—	—
販売費及び一般管理費	1,269,070	1,010,062	+259,008	+25.6%	—	—
営業利益	2,606,351	2,309,385	+296,966	+12.9%	2,550,000	102.2%
経常利益	2,608,474	2,296,681	+311,792	+13.6%	2,500,000	104.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,782,293	1,654,553	+127,740	+7.7%	1,750,000	101.9%

既存顧客との取引拡大及び新規顧客の獲得が順調に推移

計画数値に対して105.3%、前年同期比11.9%増と大幅増収を達成

次期以降の売上寄与を実現させるための新規顧客開拓も引き続き順調に進捗中



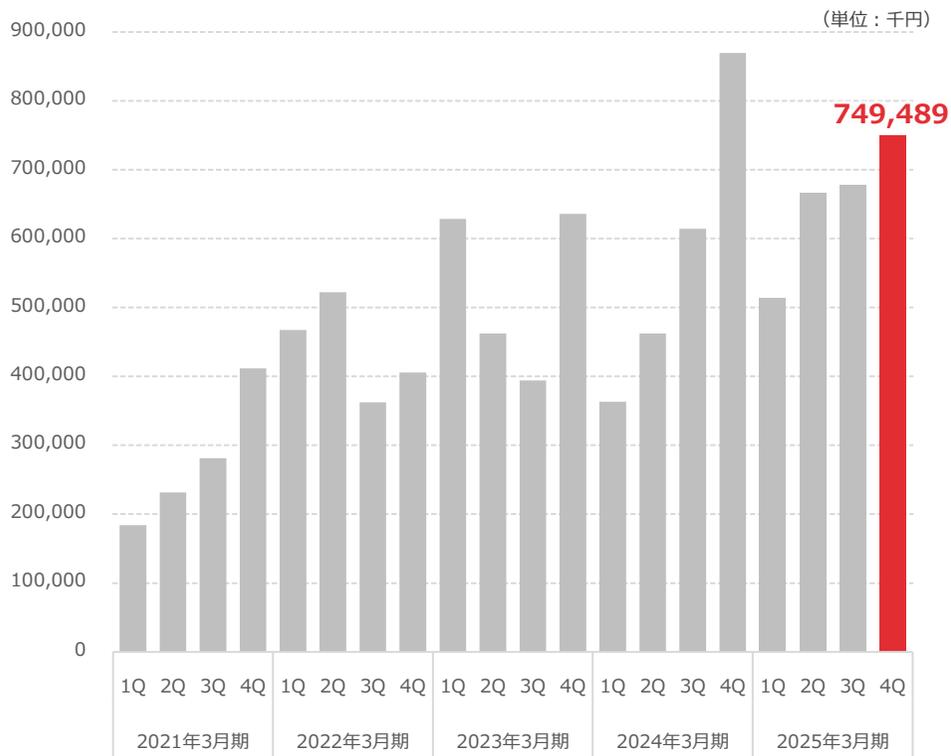
営業利益・経常利益ともに計画数値を上回る増益を達成

└ 対計画比達成率 営業利益 102.2% | 経常利益 104.3%

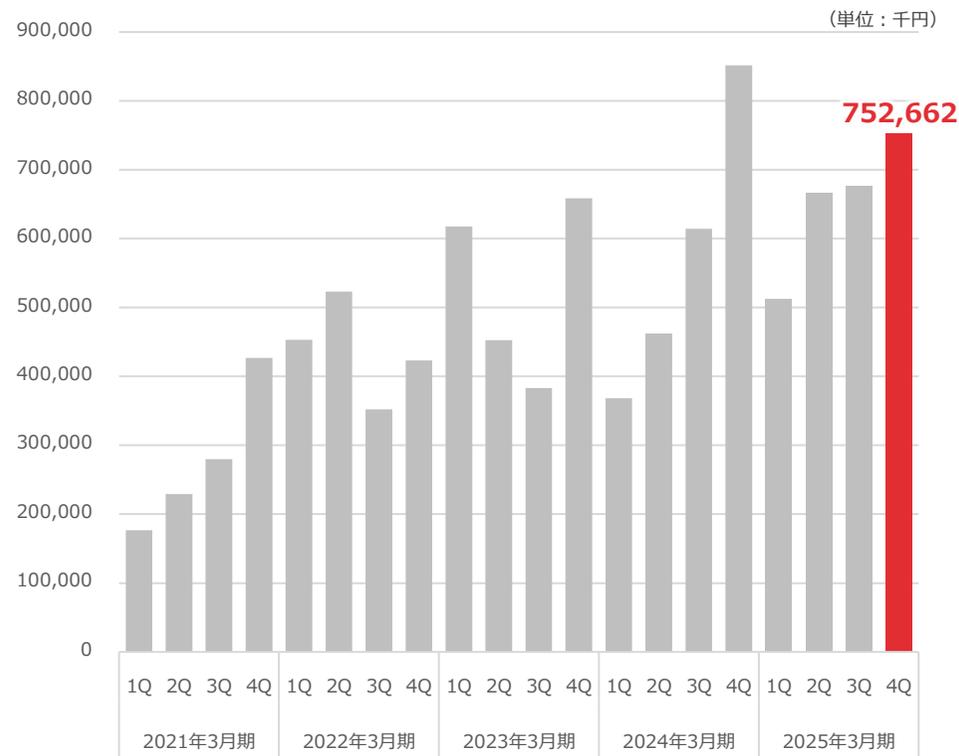
収益性の高い主力サービス中心の販売により高利益率を継続

└ 2025年3月期利益率 営業利益率32.6% | 経常利益率32.6%

営業利益



経常利益



主な増減の要因

【資産】 売掛金、仕掛品の減少等があったが、現金及び預金、建物の増加等により資産は増加。

【負債】 未払金の減少等があったが、未払法人税等、買掛金の増加等により負債は増加。

【純資産】 剰余金の配当があったが、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により純資産は増加。

(単位：千円)

項目	2025年3月期3Q	2024年3月期	前期末との比較	
	実績	実績	増減金額	増減率
流動資産	6,402,871	5,531,515	+871,356	+15.8%
うち、現金及び預金	5,346,541	4,461,238	+885,302	+19.8%
固定資産	1,123,188	1,052,714	+70,474	+6.7%
総資産	7,526,060	6,584,230	+941,830	+14.3%
負債	1,143,272	1,015,536	+127,735	+12.6%
純資産	6,382,788	5,568,693	+814,094	+14.6%
自己資本比率 (%)	84.8%	82.8%	—	—

● 主な投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出 234,458千円（主に子会社の新事務所建築関連）

● 主な財務活動によるキャッシュ・フロー

連結範囲の編網を伴わない子会社株式の取得による支出 227,467千円（株式会社アスターズ100%子会社化）

（単位：千円）

項目	2025年3月期	2024年3月期	前期末との比較
	実績	実績	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,994,562	1,435,563	+558,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,812	△363,511	+224,698
財務活動によるキャッシュ・フロー	△970,446	△771,546	△198,899
現金及び現金同等物の増減額	885,302	300,505	+584,797
現金及び現金同等物の期首残高	4,461,238	4,160,733	+300,505
現金及び現金同等物の期末残高	5,346,541	4,461,238	+885,302

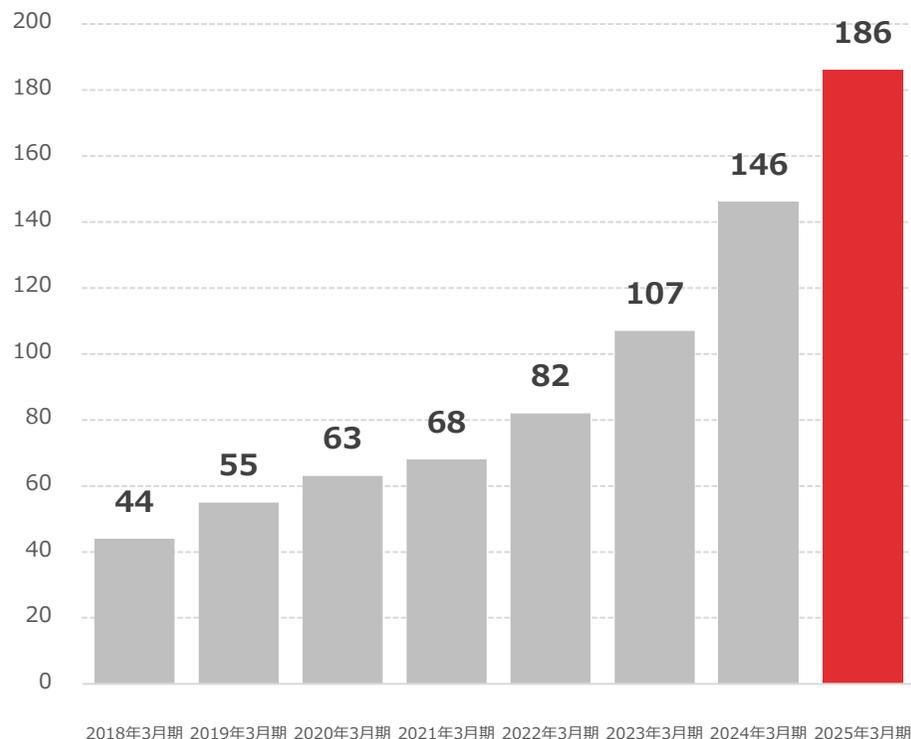
安定的に取引先企業数の増加を実現

獲得手法は従前から変わらず「インバウンド主体」の新規顧客獲得

問い合わせ件数の増加が顕著、取引先金融機関からの紹介多数、資本業務提携先であるSBIグループとの連携強化

2025年3月期は新規取引先企業を40社獲得

取引先企業数推移

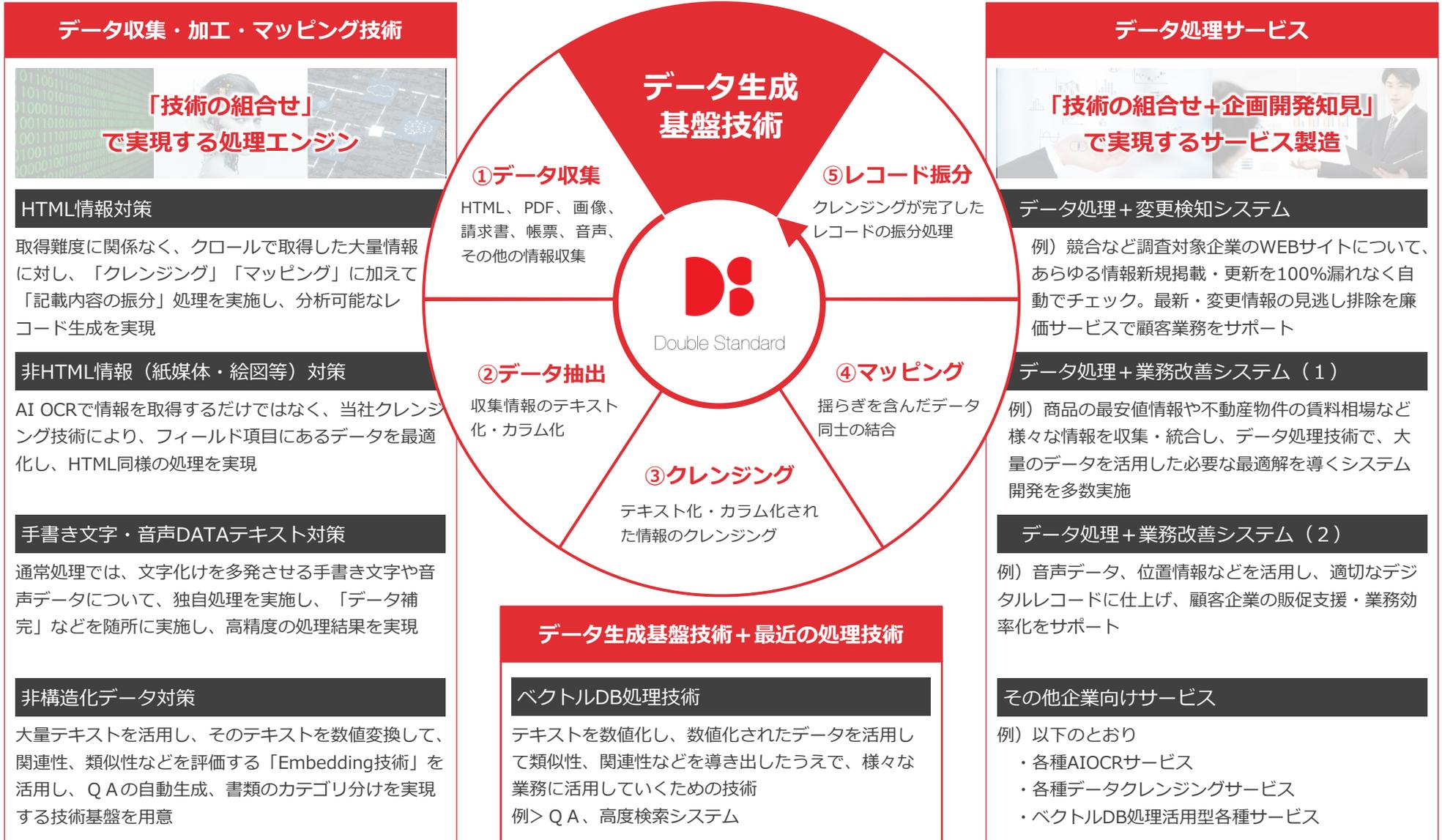


2018年3月期
44社

2025年3月期
186社



事業の概要



2つの技術要素「データクレンズ」「データエンハンス」により、データを生成

データジェネレートシステム



定型業務における最大課題「パンチ業務の削減」を実現！

D-Fit&D-Just - パンチレス実現サービス -

対象書類

アナログ形式



紙の書類

手書き文字

デジタル形式



PDF形式



Excel形式



Word形式

アップロードでPDF化（開発中）

一般的な「AI OCR」「RPA」モデルとの比較

比較項目

比較項目	「D-Fit」 & 「D-Just」	一般的な「AI OCR」「RPA」モデル
書類形式への対応	<ul style="list-style-type: none"> 書類形式を選ばず対応可能 <p>OK</p>	<ul style="list-style-type: none"> 複数の書類形式に対応できない <p>個別対応</p>
少量業務への対応	<ul style="list-style-type: none"> 作業量の少ない業務に対応 <p>人件費</p> <p>システム利用料</p> <p>コスト抑制</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作業量の少ない業務利用は、かなり割高 <p>設定工数</p> <p>人件費</p> <p>項目単位の課金</p> <p>システム利用料</p> <p>コスト膨大</p>
既存業務への影響	<ul style="list-style-type: none"> 既存の業務フローに配慮したシステム <p>A工程 → B工程 → システム → C工程</p> <p>業務フロー変更なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既存の業務フロー見直し・変更が発生 <p>A工程 → B工程 → システム → C工程</p> <p>業務フロー変更が発生</p>

「D-Series」は、以下2つの提供パターンをご用意しています。「帳票のタイプ」「利用シーン」に合わせて、ご利用いただけます。

2つの提供パターン

D-Fit（汎用型システム）
 基本機能を全て備えたオールインワンのパッケージサービス（帳票のインプットから、OCR処理結果のアウトプットまで、シンプルな機能を提供）

D-Just（個別機能強化対応型システム）
 複雑なレイアウトパターン対応や、他システムとの連携など、ニーズにあわせて対応可能なカスタマイズサービス（完全にお客様のご要望にあわせたソリューションを提供）

ほぼ全ての「本人確認書類、マイナンバー確認書類」のOCRに対応

D-Confia – 本人確認サービス –

対応書類一覧

顔写真付き本人確認書類

	運転免許証 (表・裏)		運転経歴 証明書 (表・裏)
	在留カード (表・裏)		特別永住者 証明書 (表・裏)
	個人番号 カード (表・裏)		パスポート

その他 本人確認書類

	通知カード		住民票
	健康保険証		住民基本台帳 カード
	健康保険証 5000枚対応など	発行体によってさまざまなフォーマットが存在する 書類に対して、柔軟に読取対応します	

ポイント



独自のデータ加工技術により、さまざまな本人確認書類の情報を取得可能です

【補足事項】

- 「住民基本台帳カード」は2015年12月22日 新規発行受付打ち切りとなっています。
- 「パスポート」は2020年02月以降の新規発行から、住所記入欄がなくなります (本人確認書類としては利用不可となる可能性が存在します)

データ収集から加工・名寄せまでを実施するデータ整備サービス

D-Cleanse

サービス概要

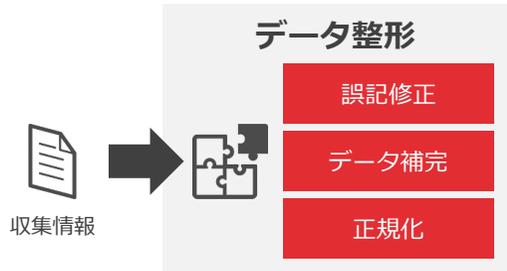
データ収集

HTML、PDF、CSV、帳票、データベース、その他の情報を収集し、テキスト化・カラム化を行います。



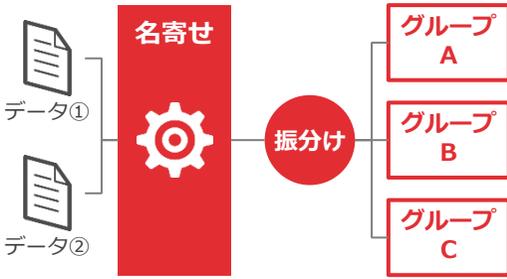
クレンジング

収集した情報の誤記の修正や欠損情報の補完などを行い、データを整形します。



データマッピング

表記揺れなどを踏まえ、同一の情報を結合（名寄せ）し、事前に取り決めた定義に応じて、レコードの振分処理を行います。



事例 顧客DB複数のデータ統合

競合分析データ整備

自社、サードパーティデータを突合し、最適な市場分析データを生成



活用例

BIツールで自社・競合の店舗情報を可視化し、競合分析に活用

グローバル顧客マスタ構築

FATF勧告に伴うAML/KYC/顧客リスク評価に向けた名寄せ対策



AIと独自技術を活用したデータクレンジングにより、部門間で異なるデータベースを統合

業種コードの付与

情報不足のカードデータに、業種分類を補完し、分析及び広告配信の高度化を実現

利用先	大分類	小分類
笑笑 渋谷	飲食	居酒屋
鳥串とりや新宿	飲食	焼き鳥屋
ル・クシュブ	飲食	フレンチ

その他

- 旅行サイト支援サービス 最安値商品data生成エンジン
- POSデータ活用システム
- 宿泊施設 - ダイナミックプライシング
- AI活用型 家賃査定システム
- 医薬品 + 遺伝子データ生成システム

etc...

Webサイトの更新情報を検知して、リアルタイムにお知らせ

D-Check

サービス概要

競合他社や顧客企業など、気になるサイトの更新情報を自動で検知。最新情報を見落とすことなく、正確に把握することが可能になります。



**Webサイトの
情報更新を自動検知**



D-Checkが対象のWebサイトを定期的にチェックし、更新の有無を確認します

**更新を検知したら
メールで通知**



対象サイトに更新があれば、登録アドレスにメールでお知らせします

**変更前後の状態を
比べて確認**



変更前後の画面で比較しながら変更箇所を確認することができます。

事例 分譲マンション紹介サイトの更新チェック



- ページ全体
 ページ全体（HTMLソース）の変更を検知
- 物件一覧
 この範囲に記載されてるテキスト、URLの変更を検知
- 新着情報
 特定KWD（モデルルーム、ホームページなど）が追加された場合に通知

更新情報を即座に検知！



取扱い物件の
追加・更新・削除

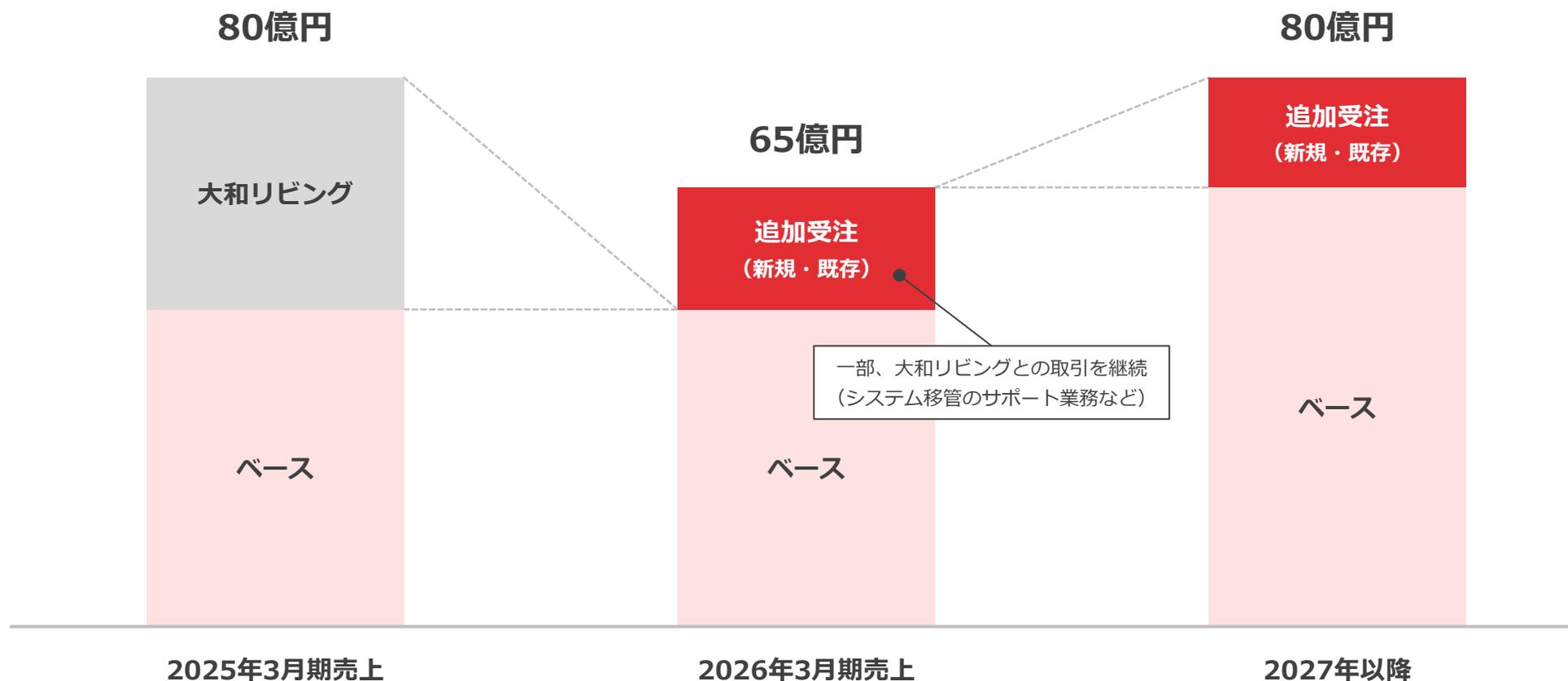
新着情報の
お知らせ

その他全体の変更
(画像数・テキスト)

2026年3月期 業績予想

新規獲得、既存拡大により、2025年3月期同等の売上実現を目指す

- **2026年3月期** : 主要取引先との契約終了により売上高が減少
- **2027年以降** : **新規取引先の獲得**、および**既存顧客との取引拡大**により2025年3月期同等の売上水準へ



主要取引先との取引終了のリカバリー対応を継続実施

当期の重点対応項目は昨年度同様「新規顧客の獲得」「既存顧客の取引拡大」を継続して実施
顧客層の拡大を図りつつ、主要取引先となりうる顧客との取引拡大を実現させ特定顧客依存を解消

重点対応項目

1

新規顧客の獲得

インバウンド（問い合わせ、紹介）主体の効率重視の営業活動を中心に案件獲得を加速化

問い合わせ件数



増加傾向

資本業務提携先

SBIグループ



各社への
アプローチ強化

取引先金融機関
からの紹介



2

既存顧客の取引拡大

弊社サービスの提供事例をもとに、取引先へ未導入の各種サービスを販売

DS独自サービスの
販売強化



D-Fit & D-Just

D-Cleanse

D-confia

D-Check

データジェネレート
システム

etc...

※主要取引先である大和リビング株式会社との取引一部継続について

2023年8月14日公表「主要取引先との契約終了に関するお知らせ」のとおり、2025年3月31日をもって主要取引先である大和リビング株式会社との契約は概ね終了となりましたが、当該主要取引先において当社が提供していた多数のシステム及びサービスの移管に係るサポート業務等の契約を別途締結したことにより、取引は一部継続することとなりました。

新規顧客の拡大を図りつつ、既存顧客へ主力サービスのアップセル・クロスセルを積極的に実施
 主要取引先との取引終了で減少した売上高の早期回復を目指し、特定顧客への依存を減少させる

予想売上高

6,500 百万円

予想営業利益

2,000 百万円

（単位：千円）

項目	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想
売上高	7,077,843	6,911,071	7,147,568	8,000,645	6,500,000
営業利益 (利益率)	1,757,894 24.8%	2,121,071 30.7%	2,309,385 32.3%	2,606,351 32.6%	2,000,000 30.8%
経常利益 (利益率)	1,751,174 24.7%	2,111,734 30.6%	2,296,681 32.1%	2,608,474 32.6%	1,980,000 30.5%
親会社株主に帰属する当期純利益 (利益率)	1,082,821 15.3%	1,625,908 23.5%	1,654,553 23.2%	1,782,293 22.3%	1,386,000 21.3%

配当方針

当社グループは株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題であると認識しており、継続的に株主の皆様に対する利益還元を実施する方針であります。

配当金につきましては、当社技術基盤等への投資および内部留保による財務体質の強化を図りつつ、連結業績や財政状態を勘案しながら、利益配当を行っていく方針であります。

配当性向

当社グループの連結配当性向につきましては**25%を目安**とし、業績動向や過年度配当性向を勘案して決定しております。

当社は2025年12月をもって上場10年を迎えることとなります。2026年3月期においては、普通配当60円と上場10周年の記念配当10円の合算である**1株当たり70円**（配当性向68.3%）といたしました。

1株当たり配当金表

項目	1株当たり配当金（円）			配当性向（%）
	中間	期末	合計	
2024年3月期	—	55円	55円	45.1%
2025年3月期	—	60円	60円	45.5%
2026年3月期（予想）	—	注 70円	注 70円	68.3%

注) 2026年3月期配当金（予想）の内訳 普通配当60円 記念配当10円

ご参考

VISION

ビジョン

顧客にイノベーションをもたらす、BEST OF THE BESTのパートナーとなる。

MISSION

ミッション

市場、技術の変化に先んじて、常識と非常識（ダブルスタンダード）から世に有益な新しい常識を創る。

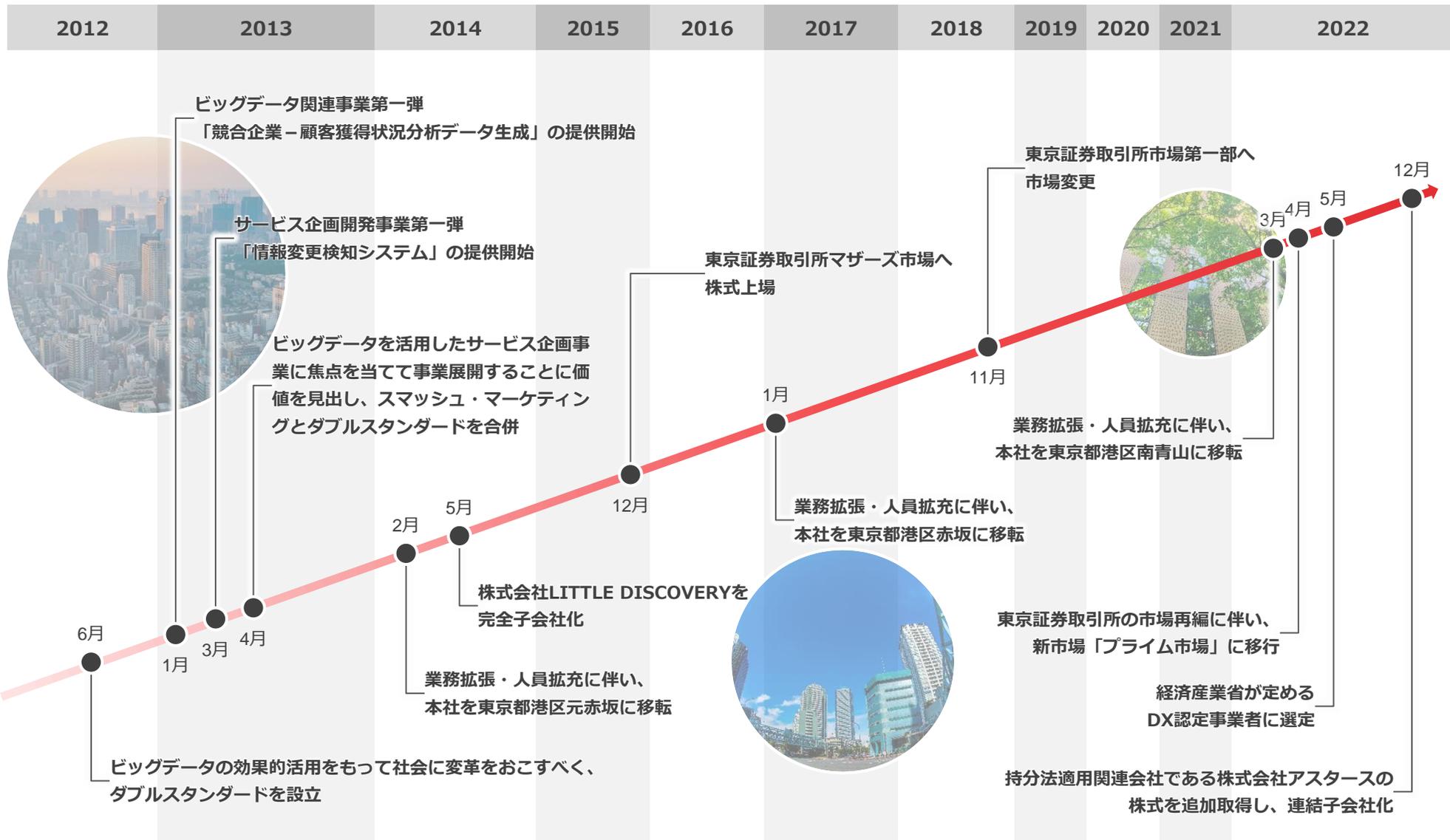
VALUE

行動規範

- 一、お客様本位 常に「お客様の立場」で考え抜き、品質にこだわりを持ち、期待以上の物を提供しようという創意工夫に努めます。
- 一、信頼 常に誠実且つ公正に、社会とおお客様の信頼を得るために行動します。
- 一、責任 何事も自分のこととしてとらえ、常に自分の考えを持ち、自分の責任で行動します。
- 一、チャレンジ 広い視野を持ち、常に新しい技術とアイデアを追求しながら、何事にも挑戦し続けます。
- 一、チームワーク 互いの個性と意見を尊重しながら、真摯に議論し、最高のサービスを創出します。

会社名	株式会社ダブルスタンダード 証券コード3925 東京証券取引所プライム市場
資本金	263百万円
事業内容	独自のデータクレンジング技術によるデータビジネスの実現 DXを中心とする関連業務系システムの企画・開発
所在地	東京都港区南青山2-2-3 ヒューリック青山外苑東通ビル4F
連結子会社	株式会社LITTLE DISCOVERY 株式会社アスタース
グループ会社その他	SBIグループ（資本業務提携先）

代表取締役	清水 康裕	C E O
取 締 役	中島 正三（創業者）	C T O
取 締 役	飯島 学	C I O
社外取締役	徳永 博久（弁護士）	
社外取締役	赤浦 徹（日本ベンチャーキャピタル協会特別顧問）	
社外取締役 （監査等委員）	大島 康則	
社外取締役 （監査等委員）	松井 敬一（元アートコーポレーション常務）	
社外取締役 （監査等委員）	塚田 和哉（会計士）	



本資料に記載されている経営戦略、計画や見通し等は、本資料作成日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る一定の前提条件に基づいており、当社としてその実現を保証するものではありません。

実際の業績は、業界の状況、経済の状況、金融市場の動向の他、様々な要因によって大きく変動する場合があります。予めご承知おき下さい。

本資料は、株式会社ダブルスタンダードおよび当社関係会社の事業の概要へのご理解をいただくために作成されたものであり、投資勧誘または斡旋を行うものではありません。投資に関するご判断は投資家様ご自身の責任で行われますようお願い申し上げます。

